

## 症例 / 口内炎

### 患者様情報

- 女性 20代 神奈川県
- 初診 2012年 5月
- 既往症 なし
- 他の症状 頭痛、肩こり、冷え性

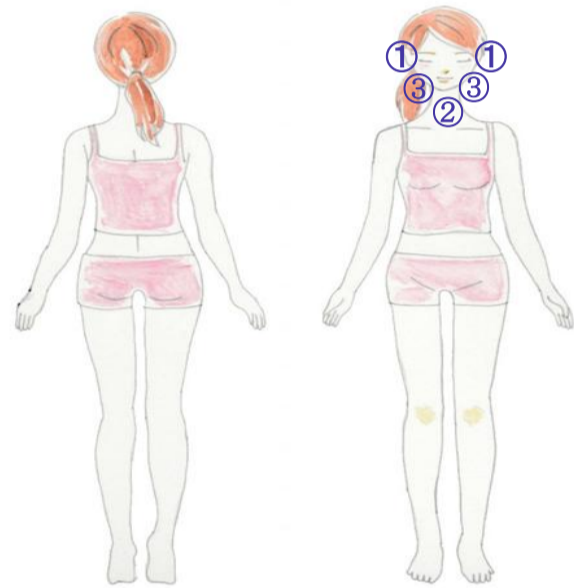
### 来院されるまでの症状

- ・以前から疲労が蓄積すると口内炎が2~3ヶ所発症するというものでした。
- ・とくに生理前や胃腸不良を感じる際は多発し、食欲も落ちやすく、喋るのもおっくうになるようでした。
- ・このような煩わしさから解放されたくて、思い切って来院なさいました。

### 四診と経過

#### ■ 診療(診断と施術)

- ・耳下腺や顎下腺が張っていて、特に胸鎖乳突筋の緊張が顕著であったため、首まわりや鎖骨上窩付近を緩める施術を行ないました。
- ・また、足の冷えとむくみが強く、のぼせやすくなっていたので、両腰部の硬結を緩め下肢への血流を促す施術も加えました。



#### ■ 初診後の経過

- ・週に1回のペースで来院していただき、同様の施術を3回にわたり続けさせていただきました。
- ・その結果、口内炎の痛みは和らぎ、患部は小さくなっていました。

#### 使用した主要なツボ

- ① 翳風(えいふう)
- ② 天突(てんとつ)
- ③ 缺盆(けつぽん)

#### ■ ひとこと添えさせていただきます

- ・口内炎は口の中の粘膜や舌に起こる炎症です。
- ・口の中の粘膜が赤く腫れ上って痛み、水泡ができたり、ただれて欠損することもあります。
- ・酸やアルカリ物質、熱湯の誤飲による刺激、間違えて嚙んでしまった、さらにウイルスや細菌の感染が主な原因といわれていますが、皮膚細胞の再生促進がなによりの解決法です。
- ・鍼灸は口内炎に有効な施術です。隔週で月2回ほどのペースで、定期的に診療することをお勧めします。
- ・鍼灸の施術により、胃腸の働きを良くし、足の冷えや顔の紅潮を改善すると、身体上部の病症を起こしにくくなります。さらに、質の良い睡眠が確保されストレス解消にも効果的です。
- ・こうして、自律神経のバランスが整い、粘膜の働きも強くなってきますので、口内炎には有効といえます。